

# やすらぎだより

4  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

コラム第118号

## 「キャリアパス」

施設長 植田 誠



「組織内における職員のキャリアアップの進路及び道筋」、キャリアパスを定義付けすると一般的にはこうなる。元々は経済学用語であり自己啓発を意味する人事労務用語でもある。介護人材の枯渇が危惧されて久しい近年、介護現場では特にその重要性が叫ばれてきた。

平成21年の「介護職員処遇改善交付金」から強調されたその経緯は、待遇改善や人材定着という課題解消のためのツールとしての位置付けを歩んできたとも言える。

‘当面の問題を解消するために取り組む’ ‘交付金要件としてとりあえず’ 消極的な動機とは言え、根付いたことには違いはない。

「将来の道標」という観点から、職位のイメージを明らかにしなければならぬ。そしてそのイメージは恣意的なものであってはならない。何より大切なのは、そのイメージに向かって段階的にそして実行性のあるものが求められる。法人施設規模によって、その歩む道程は千差万別だ。

例年通り、役職員間で三度の議論場を経て「平成27年度法人事業計画」は承認を得た。3点ある重点方針の一つは「人材育成とキャリア形成」、その代表的な推進項目として「キャリアパス委員会」を発足した。組織として考え、組織として定着させる近道は現場発信。私なりのこだわり、4名の志願者が共鳴してくれた。

5年間という限定期間で、果たして何が形として残るのか。何が具体的な運営に位置付けられるのか。不透明な中にも、予想だにしない可能性は期待とともに広がっていく。

組織と人材、法人と職員、真の融合は成し得るのか。互いの目的と目標がどれだけ縮まるのか。絵空事に終わらせない、動き出した一つのスタイルの行く末には、‘やる気と誇り’というキャリアパスそのものの真価が問われているようだ。



### 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所  
居宅介護支援事業所  
訪問介護事業  
訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい